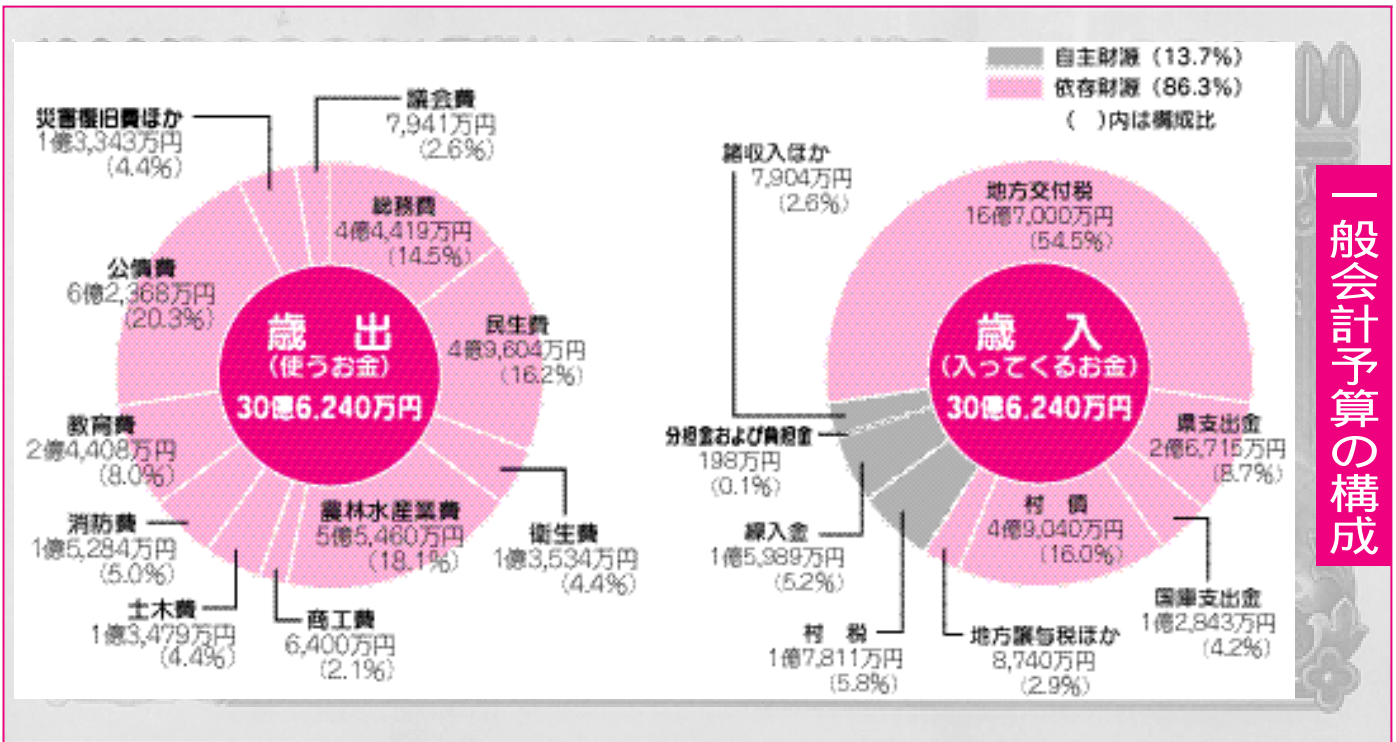


13年度の村の予算は一般会計で30億6,240万円

教育文化の充実や 福祉のサービスが重点です



一般会計予算の構成

効率的な財政運営を進める平成十三年度の当初予算が、三月定例会で決まりました。一般会計（議会費から予備費まで、村の基本的な仕事に充てるお金）は三十億六千二百四十万円で、前年度に比べ三・九%の減となっています。厳しい財政状況の中ですが、教育文化の充実と、農林業の所得向上と福祉サービスに重点が置かれた予算編成となっています。

収入の主なものは、国から交付される地方交付税が十六億七千万円で五四・五%、国・県などからの補助金〓国・県支出金が三億九千五百五十八億円、十二・九%、村が事業などを行うために国などから借り入れるお金〓村債は、四億九千四百万円、一六・〇%、皆さんが納めた村民税、固定資産税など税金〓村税、基金からの繰入金などを含めた

自主財源は四億一千九百二十万円、一三・七%となっています。支出を目的別に見ると、国や県などへの借入金返済のための公債費が全体の六億二千三百六十八万円、二〇・三%、産業基盤整備のための農林水産業費が五億五千四百六十万円で一八・一%、普代児童館建設や高齢化社会に対応した福祉サービスなどの民生費が四億九千六百万円で一六・二%、村有財産管理や庁舎管理などのための総務費が四億四千四百一十九万円、一四・五%と続いています。

景気が低迷を続ける中、厳しい行財政環境ですが、「北緯四〇度東端の地球村ふだい」の二十一世紀を展望し、限られた財源の効率的運用、行財政の健全化、行政水準の向上を図り、村民の皆さまのため、公正・公平に大切に使用していきます。

効率的な財政運用図る



弁天漁港災害復旧工事も急ピッチで進められています